

【お知らせ】

◆ 2011年総合大会について

3月14日から東京都市大学にて開催予定であった2011年総合大会は、東日本大震災のため中止となりました。これに伴う本大会の講演論文については、論文集が公開されていることより発表扱いになりました。

(電子情報通信学会ホームページ参照：http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html)

◆ エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞について

2011年ソサイエティ大会(2011年9月13日～16日、札幌市、北海道大学)において、第9回エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞の審査を行います。本賞はエレクトロニクス分野に関する優秀な発表(一般講演、シンポジウム講演)を行った学生員に対して贈呈するものです。概要は以下の通りとなっております。

* 選定対象者： 次のすべての条件を満たす方。

- (1) 講演時に電子情報通信学会の学生員であること。
- (2) 講演申込の際に筆頭著者かつ講演者として登録し、かつ実際に講演を行った者。
- (3) 過去に電子情報通信学会の学術奨励賞、及び本賞を受けたことがないこと。
- (4) 表彰時に電子情報通信学会の会員であること。

該当者は自動的に本賞の選定対象者として登録されますので、申込み手続きは不要です。

*表彰： 2012年総合大会のエレクトロニクスソサイエティのプレナリーセッションにおいて、下記3分野それぞれについて2名の方に表彰盾および賞金(30,000円)を贈呈します。

- イ) 電磁波およびマイクロ波
- ロ) 化合物半導体および光エレクトロニクス
- ハ) シリコンおよびエレクトロニクス一般

尚、2011年総合大会(2011年3月14日～17日、東京都世田谷区、東京都市大学)が東日本大震災のため中止になりましたので、選考も取止めとなりました。

◆ 特集号論文募集 (Call for Paper)

---集積回路設計技術に関する小特集号(英文論文誌C)論文募集---

集積回路設計技術に関する小特集編集委員会

CMOSデバイスの微細化は留まるところを知らず、現在ナノメートル領域に向かって着実に進行し続けています。その結果、VLSIチップの集積度は指数関数的に増大し、今や1チップに100億個といった脳の神経細胞数にも匹敵する膨大な数のトランジスタが集積可能になってきております。これにより新たなアプリケーションや情報処理の開拓が期待されます。一方で、漏れ電流やばらつきの問題も顕在化しており、新たな回路技術や設計技術への要求が高まっています。SoCへのSRAMやアナログ回路の搭載は一般化し、低電圧動作するメモリやCMOSアナログ回路技術も待望されています。このような背景のもと、VLSIの発展に寄与するためには、新しいアプリケーションやアーキテクチャ、更に先進の回路・設計技術が重要となります。そこで、関連の研究成果を発掘することを目的として、集積回路設計技術に関する小特集号(平成24年4月号)を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

●論文投稿締切日 平成23年8月10日(水)必着

●問合せ先幹事

小谷 光司

東北大学大学院工学研究科電子工学専攻

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

TEL (022) 795-7122, FAX (022) 263-9396, E-mail: kotani@ecei.tohoku.ac.jp

- 詳細は学会誌4月号をご覧ください。

----先端半導体デバイスの基礎と応用小特集号（英文論文誌C）論文募集----

先端半導体デバイスの基礎と応用小特集編集委員会

情報化社会の進展は、半導体集積回路・半導体デバイスの技術進歩無しには望めません。また、将来の知識基盤社会の構築にも、半導体デバイスの革新的な進歩に期待が寄せられています。微細化の限界を打破するためのシリコン ULSI デバイス技術、通信容量を格段に飛躍させる化合物半導体デバイス、新機能を創出する量子効果デバイスなど、半導体デバイスの大きな挑戦が進んでいます。最近では、化合物半導体とシリコンの融合集積化も研究が進められています。このような背景から、最先端半導体デバイスの研究動向を紹介することを目的に『先端半導体デバイスの基礎と応用』と題して小特集号（平成 24 年 5 月号）を企画致しました。多くの方々の積極的な御投稿をお願い致します。

- 論文投稿締切日 平成 23 年 8 月 25 日（木）必着

- 問合せ先幹事

須原理彦

首都大学東京 理工学研究科 電気電子工学専攻

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

Tel. 042-677-2765 Fax. 042-677-2756 E-mail: suhara@tmu.ac.jp

- 詳細は学会誌5月号をご覧ください。

----アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する小特集号（英文論文誌 C）論文募集----

アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する小特集編集委員会

テレビ放送のデジタル化や、次世代高速無線通信サービスの開始など、情報通信機器の進化は、現在も急速な勢いで続いております。これらの進化をハードウェアの側面から支えている技術に、アナログ回路技術があります。多様な情報機器に用いるアナログ回路には、高度な機能・高性能を低消費電力かつ低コストに実現することが要求されており、アナログ回路技術のみならず、デジタル信号処理との協調、SoC 環境下での性能保証、先端製造プロセスとアナログ集積回路の関係（DFM やデバイスモデルなど）など、広い要素技術領域の発展が必要とされています。

そこで本小特集号（平成 24 年 6 月号）では、アナログ回路技術、ミックスドシグナル SoC への応用、あるいは製造性やテストビリティなど、アナログ回路を取り巻く新しい諸問題について広い問題提起・議論をし、この分野における研究・開発を更に、活発に進展させて頂きたいと考えました。多くの皆様の積極的な御投稿をお願い致します。（必須ではありませんが）チップ実現・測定結果を含んだ論文を歓迎します。

- 論文投稿締切日 平成 23 年 10 月 3 日（月）必着

- 問合せ先幹事

野口宏一郎

ルネサスエレクトロニクス株式会社 技術開発本部 先行研究統括部

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

Tel : 044-435-5445, Fax : 044-435-5432, Email : kocihiro.noguchi.eb@renesas.com

- 詳細は学会誌6月号をご覧ください。

◆ エレソ研究会開催予定（7月～11月 開催）

研究会名	開催日	テーマ名	開催場所	発表申込み切	共催/併催
機構デバイス (EMD)	2011.10.21(金)	トライボロジ、及び一般	立川市市民会館	8月10日(水)	日本トライボロジー学会固体潤滑研究会、継電器・コンタクトテクノロジー研究会
磁気記録・情報ストレージ (MRIS)	2011.10.13(木)～10.14(金)	ヘッド・スピントニクス、及び一般	新潟工科大学	8月10日(水)	MMS, MR, IEEE CE Soc. Jpn, 磁気学会+ナマガ研究会
磁気記録・情報ストレージ (MRIS)	2011.11.18(金)	ハードディスクドライブ、及び一般	早稲田大学	9月14日(水)	MR, MMS
電子デバイス (ED)	2011.10月	電子管と真空ナノエレクトロニクス及びその評価技術	未定	未定	
電子デバイス (ED)	2011.11月	窒化物及び混晶半導体デバイス	未定	未定	LQE, CPM
マイクロ波 (MW)	2011.9.8(木)～9.9(金)	マイクロ波ミリ波帯におけるアンテナ集積化技術、給電回路技術、及び一般	大阪大	7月15日(金)	AP研究会、IEEE MTT-S Japan Chapter、IEEE MTT-S Kansai Chapter
マイクロ波 (MW)	2011.10.20(木)～10.21(金)	学生研究会/マイクロ波、及び一般	電通大	8月5日(金)	IEEE MTT-S Japan Chapter、IEEE MTT-S Kansai Chapter
マイクロ波 (MW)	2011.11.24(木)～11.25(金)	一般	与那国島(調整中)	9月7日(水)	IEEE MTT-S Japan Chapter、IEEE MTT-S Kansai Chapter
有機エレクトロニクス (OME)	2011.11.18(金)	光機能性有機材料・デバイス、光非線形現象、及び一般	機械振興会館	9月14日(水)	OPE
光エレクトロニクス (OPE)	2011.10月	未定	高知工科大学	8月11日(木)	LQE, OCS
光エレクトロニクス (OPE)	2011.11月	未定	機械振興会館	9月14日(水)	OME
レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	2011.10.27(木)～28(金)	超高速伝送・変復調・分散補償技術、超高速光信号処理技術、広帯域光増幅・WDM 技術、受光デバイス、高光出力伝送技術、及び一般 (ECOC 報告)	高知工科大学	8月13日(土)	OPE, OCS
レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	2011.11月	窒化物半導体光・電子デバイス・材料、関連技術、及び一般	未定	9月14日(水)	ED, CPM

◆ エレクトロニクスソサイエティ会員数の推移

		名誉員	正員	(国内)	(海外*)	学生員	(国内)	(海外*)	合計
2009年	4月	44	6,421	(6,155)	(266)	563	(502)	(61)	7,028
	5月	43	6,417	(6,148)	(269)	594	(528)	(66)	7,054
	6月	43	6,424	(6,153)	(271)	614	(546)	(68)	7,081
	7月	42	6,438	(6,156)	(282)	645	(574)	(71)	7,125
	8月	42	6,449	(6,163)	(286)	744	(669)	(75)	7,235
	9月	42	6,454	(6,164)	(290)	779	(698)	(81)	7,275
	10月	42	6,471	(6,171)	(300)	805	(717)	(88)	7,318
	11月	42	6,459	(6,158)	(301)	808	(717)	(91)	7,309
	12月	41	6,422	(6,118)	(304)	820	(726)	(94)	7,283
2010年	1月	40	6,410	(6,104)	(306)	860	(757)	(103)	7,310
	2月	40	6,404	(6,093)	(311)	906	(796)	(110)	7,350
	3月	40	6,291	(5,975)	(316)	886	(774)	(112)	7,217
	4月	40	6,591	(6,243)	(348)	543	(462)	(81)	7,174
	5月	42	6,574	(6,213)	(361)	600	(508)	(92)	7,216
	6月	42	6,606	(6,231)	(375)	644	(547)	(97)	7,292
	7月	42	6,619	(6,240)	(379)	723	(620)	(103)	7,384
	8月	42	6,644	(6,260)	(384)	765	(658)	(107)	7,451
	9月	42	6,659	(6,271)	(388)	812	(699)	(113)	7,513
	10月	42	6,629	(6,238)	(391)	857	(740)	(117)	7,528
	11月	42	6,629	(6,224)	(405)	884	(752)	(132)	7,555
	12月	42	6,601	(6,187)	(414)	901	(754)	(147)	7,544
2011年	1月	42	6,588	(6,174)	(414)	951	(801)	(150)	7,581
	2月	42	6,576	(6,155)	(421)	1,021	(863)	(158)	7,639
	3月	42	6,055	(5,683)	(372)	967	(803)	(164)	7,064

* 海外:「外国籍を有しかつ海外に在住する」会員

◆ Newsletter 魅力的な紙面づくりにご協力下さい

本Newsletter は、会長、副会長からの巻頭言や論文誌編集委員長、研究専門委員会委員長からの寄稿を中心に、年4回発行させていただいております。本号より、Newsletterをリニューアルいたしました。今後、さらに魅力的な紙面づくりを進めるため、エレクトロニクスソサイエティでは、会員の皆様から企画のご提案やご意見を募集いたします。電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ事務局宛（詳細は下記URL）にご連絡をお願いいたします。
<http://www.ieice.org/es/jpn/secretariat/>

◆ エレソ News Letter は年4回発行します。次号は2011年10月発行予定です。

編集担当： 中村（企画広報幹事）、楢橋（編集出版幹事）、加屋野（技術渉外幹事）

[編集後記]

私にとって、3月の震災による総合大会中止も衝撃的でしたが、4月のNewsletter担当交代で、“今年度はリニューアルする”と言われたインパクトも大きかったです。昨年度はホームページのリニューアルを担当しリニューアルづくりですが、エレソ会員の皆様に少しでも論文誌、研究会などソサイエティ活動の魅力をお伝えし、学会活動の一助になればと思います。ワープロと格闘しております。拙い編集担当ですが、今年一年よろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、震災で被害を受けられた地域が速やかに復興することを祈念致します。

企画広報幹事 中村誠